

立山

tateyama

第95号 2013年1月

- ご挨拶 1
- 第二回全国技能競技大会に参加して 2
- 第二回全国技能競技大会を見学して 3
- 「炭出し体験」に参加して 4
- 技能奉仕活動REPORT 5
- 巨大扇子製作 7
- 編集後記 7

ご挨拶

悟 健 内 竹 部 長 青年部

青年部長を今井直前部長より引継ぎはや1年が経ちました。その間、青年部役員および部員の皆様、そして県連の皆様のご協力により、無事各事業を行えましたことをまず感謝いたします。

部長を引継いでからはあつという間の一年でした。就任後最初の事業が3月に行つた「ワイヤーの講習会」でした。そして、4月に庭の日、5月に網代垣の作成および設置、6月に全国大会及び視察研修、9月には炭出し体験…。これらの事業は部員の皆様の技能・知識の向上心に支えられ、無事に行うことができました。ありがとうございました。

さて、今年伊勢神宮におきまして20年に1度、正殿などが造り替えられる「式年遷宮」が行なわれます。20年に1度行われる理由のひとつに技術の伝承があります。見習いから

始まり中堅、そして棟梁となるなかで、少なからだそうです。造園業も同じです。あるくとも2度は正殿の遷宮に携わることができ

方がおっしゃいました。「技術、技能は下の方に伝え、代々伝わるから伝統なのだ」と。

青年部の講習会におきましても、OBの方に講師をお願いすると快く引き受けてください、技能のことのみならず、仕事に対する心構えやお客様への接し方など多岐にわたるお話をお聞きすることが出来ました。改めて当青年部の繋がりは「すごい」と感じました。

今年、5年ぶりに当青年部を卒業される方がいらっしゃいます。これは5年前に部員数減少を危惧された先輩が退会年齢を40歳から45歳に引き上げてくださったことによるものです。このおかげでより多くのことを教わる期間ができました。大変感謝しております。

今後も部員数の減少が危惧されますが、卒業される方よりも多くの新入部員を迎える青年部でありたいと思います。

これからも皆様のご協力よろしくお願ひします。

fin.

第二回全国技能競技大会に 参加して

富山西部支部 今井 浩司

STEP
1 /

STEP
3 /



STEP
2 /



技能競技大会に参加しました。大会の感想は、光地くんが長々と書いてくれて
いると思うので、選手としての感想を寂しいくらい短く書きます。

青年部OBの野開さんと二人一組で参加したわけですが、結果はご存知の通り
惨敗でした。すべてにおいて甘かったです。部分的な技術は他のチームそれぞれ
差はありません。

何で差がついたか?時間的な経過を含めて、一つの作品を作り上げる。その力
が無かつたです。作品のテーマを念入りに考え、それに沿つて人に伝わる図面を
描き、心に届くプレゼンをする。繊細さと豪快さを忘れず施工し、完成後は風や
光を受けた時の庭の表情を眼で見てもらい心で感じてもらう: 技能技術は現場で
の施工力だけではないんですね…。

クタクタになり打ちのめされた三日間でしたが、色々なことに気付かされただ
けでもよかったです。

遠路はるばる、强行日程で応援に来ていただいた皆さん、本当にありがとうございます。
次はあなたたちの番です。

第二回全国技能競技大会を見学して

富山西部支部
光地 正広

平成24年10月25日(木)～27日(土)

にかけて、造園連主催による第二回
全国技能競技大会が開催されました。

この大会は働き盛りの造園家が
技術を競い合い、造園業界の活性化
を目的として昨年より開催されて
います。この大会の特徴は①年齢制
限が無いこと、②指定された材料を
用いて自由に庭を作れること、③二
人組にて二日間(26、27日)で作庭す
ること、となつており全国各地より
腕に覚えのある13チーム26名が参
加されました。

本大会には富山県より北陸ブ
ロックを代表して野開吉彦元青年
部長、今井浩司直前部長のお二人
がチーム「グリーンオーケストラ富
山」として参加なされました。当青
年部でも企画・厚生部による応援
ツアーガ10月27日の日帰りとして
企画され、竹内部長を筆頭とした応
援団として見学して参りました。

さて、当日の状況ですが、見学者
の数がものすごく多く、また作業を

する参加者は真剣に作業を行なつ
ており、その熱気が目に見えるかの
ようでした。

会場に到着したのが27日11時前
後で各参加チームは完成度8割ほ
どのところ、「グリーンオーケスト
ラ富山」はポット苗の植栽と清掃を

残すのみとなつており、作業速度は
頭一つ抜けた形でした。前日より
見学されていた方々にお話を伺う
と「今井さんの石組みは勢いがあつ
てすごいね。しかも開始直後にあつ

という間に完成させたよ。」「野開さ
んが臥龍垣を作る時に、作業台を見
学通路側に向けて竹を割つてたん
だけど、その時の見学者の盛り上がりはすごかつたよ。」等など1日目
を見なかつたのが悔やまれる程によい評判であふれていきました。

他の参加チームも高木を使わず
鉄平石で龍の鱗を仕立てた「もう一
つの天竜川」やレンガを用いたアーチ
橋を配した「しまなみのそよ風」
等、造園技術の粋を凝らした庭で溢

れかえりました。

この技能競技大会を見学して、お
伝えしたいことはまだあるのです
せん。つきましては、またの機会には
参加者として見学者としてご参加い
ただき、現地の空気を肌で感じて頂
ますようお願い申しあげます。

最後になりますが、参加された野
開吉彦さん、今井浩司さん、本当に
お疲れ様でした。

「炭出し体験」に参加して

南砺支部 湯浅 孝一

新たな試みとして、企画厚生部より、「炭出し体験」を試みました。

平成24年9月16日(日)当日は、講師である水口さんからは、なぜ「炭出し」を始めたのかの説明を聞き

ました。ナラ枯れによる被害拡大防止。そして、倒木してしまった樹木を危険回避のため再利用すること

とで自然体系の維持

を目的としている話を伺いました。今は廃

れてしまいましたが、昔は数多くの炭焼き釜があり、間伐、植樹

をすることで里山を管理していた時期も

あつたそうです。

すでに、60回以上



の炭出しを行っている中で、地域の子供達や住人方々を誘い体験教室を行うことで自分達の活動広める努力もされていることも

聞きました。

今回は、出来上がった炭を窯から出して大きさを揃え、箱詰めの作業と工程からすればほんの一部

でした。みんな、滅多

にみることのない炭焼き釜は興味津々。窯の火は1週間も前に

消してあると伺つていましたので少し甘くみていた部分はありました。しかし実際

は、窯の中に入るだけで独特の暑さを実感

し竹内部長の額からはした

たり落ちる汗が印象的でした。中から炭をだして見ると、独特の色艶、硬さ、叩いた音などを聞くと上質な炭が出来ているのがわかりました。

「炭出し体験」に参加して普段とはまた違った視点で、木と向き合いました。

来るまではかなりの品質のものが出た。ここまでの品質のものが出来た。そこまで努力と時間がかかるまではかなりの品質のものが出来た。始めのころは、商品にならないものがが多く厳しかつたそうです。特に火加減と窯にナラ、コナラ、竹など材料の敷き詰め方が難しく、これが悪いと均一な熱が通らないため灰やスス、不良品になるものが多いそうです。

得ることが

出来たのは貴重な体験

だつたと思つていま

す。小さい事でも継続

をしていく

大切さ、また、この里山に対する水口さんの気持ちがわかつた気がしました。



技能奉仕活動 REPORT 2012 高岡・砺波・氷見

砺波支部
飯田 大輔



時間でし
たが、仕事
さながら
の集中力
と連携で、

中身の濃いものとなりました。
このように、ただのゴミ拾いとは
違い、普段はお金をもらってやって
いる技術を駆使して行う奉仕活動

は、対象のCurry Up Parkはもち
ろん、造園組合青年部にとつても大
変意義のあることだと感じました。
また、贅沢というか逆に図々しい



各自、雨具を着用し、皆テキパキ
と剪定作業を進め、思っていたよ
り早く作業を終えることが出来ま
した。青年部員が集まれば早いも
のですね。

平成24年10月6日(土)、早朝6時
から砺波市のCurry Up Parkにて、
高岡支部8名、砺波支部3名、氷
見支部3名の計14名で技能奉仕活
動を実施しました。

作業内容は、青年部が30周年の際

に造った庭の手入れで、カシやモミ
ジ等の剪定とツツジ類の刈り込み
が中心でした。先輩方が率先して木
に上がっていただいたので、私は掃
除に専念して

いました。人

数が多くつた

のと、マツな
どの手間のか
かる木が無
かつたことも
あり、スムー
ズに作業が進
みました。時
間にすれば短

話かもしけ
ませんが、

植木屋魂に
火が付くよ

うな庭園で

奉仕活動し

たいと思い

ました。



技能奉仕活動 REPORT 2012 富山中部

富山中部支部
大村 茂生

平成24年11月10日(土)、6名の
参加者により、富山市の児童養護
施設ルンビニ園にて技能奉仕活動
を行いました。

毎年この場所で行つていて、天
候に恵まれていたのですが、今年
は雨でした。

足元の悪
いなか、怪我
をすることが
もなく奉仕
活動を終え
ることが出
来て良かつ
たです。



技能奉仕活動 REPORT 2012 富山西部

富山西部支部
道嶋 浩二



今年度の富山西部支部技能奉仕活動は、平成24年11月3日（土）午前9時から富山市立朝日小学校にて雪囲いを行いました。

部員6名と雪囲いを学びたいと地元の方2名で、玄関前の松3本の芯木吊りとツツジ2本の竹囲い

を丁寧に行い、2時間程度で終えることができました。

学校および地元の方から、来年もお願いできるなら是非講習会に参加したいとの声がありました。今後も活動へ積極的に参加したい

我々射水支部は、平成24年10月13日（土）、大門高校にて技能奉仕活動を行いました。

人数は9名で、内容は大門高校周辺に植栽されている貝塚の剪定をしました。

剪定前は枝先がけつこう伸びていましたが、参加してくださった皆さんのおかげで、写真のようにきれいになりました。

今後も、技能奉仕活動に力を入れて頑張っていきたいと思います。



技能奉仕活動 REPORT 2012 射水支部

射水支部
村上 敏之



福光ねつおくり七夕祭り

巨大扇子製作

南砺支部 河合 貴宏



平成24年7月26日(木)～29
日(日)に開催された福光ねつ
おくり。昨年と同様、今年も
巨大扇子の展示をさせてい
ただくことになりました。
『南砺造園業組合青年部』の
昨年のリベンジ（昨年は
黒い文字だけでかなり地味）
で、今年は竹の絵も入れること
になりました。

22日(日)に作業を開始、骨
組と布張りは昨年もやつて
いますから比較的順調に作
業は進みました。文字も昨年
と同様、下書きを油性ペンで
います。

塗り潰し、竹の絵もシンプル
なデザインで緑だけを使う
ことにしました。が、塗り
潰す面積が多すぎました。南
砺市内の文房具店、ホームセ
ンター等で緑の油性ペンを
15本以上買い漁り、1日で終
わるはずの作業が…。

今年も課題を残す結果とな
なりました。幸い、来年以降
も主催者様のご厚意により
リベンジをさせていただけ
た。大変勉強させられた大
会でした。富山の代表として
参加されたお二方の活躍
にスタンディングオーバー
ショウ^(*)（広報部長／安部
文也）

後記編集

今季も様々な活動を行いましたが個人的に印象強かったのは10月に行われた全国技能競技大会に富山西部支部の今井さん、O.Bで我ら青年部員に講習会等でご指導頂いております野間さんとペアを組んで参加されたことでしょう。応援ツアーリには参加できませんでしたが他県の参加者は日の当たり具合で影のもたらす庭の雰囲気まで考慮した図面を考えていることを聞き驚きでした。大変勉強させられた大会でした。富山の代表として参加されたお二方の活躍にスタンディングオーバー